

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年10月12日
【会社名】	アイダエンジニアリング株式会社
【英訳名】	AIDA ENGINEERING, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 会田 仁一
【本店の所在の場所】	神奈川県相模原市緑区大山町2番10号
【電話番号】	042(772)5231(大代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理本部長 鶴川 裕光
【最寄りの連絡場所】	神奈川県相模原市緑区大山町2番10号
【電話番号】	042(772)5231(大代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理本部長 鶴川 裕光
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集金額】	その他の者に対する割当 104,949,400円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【証券情報】

第1 【募集要項】

1 【新規発行株式】

種類	発行数	内容
普通株式	81,800株	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 なお、単元株式数は100株であります。

- (注) 1 平成29年10月12日開催の取締役会決議によります。
- 2 本有価証券届出書の対象とした募集は、会社法(平成17年法律第86号)第199条第1項の規定に基づいて、当社の保有する当社普通株式による自己株式処分により行われるものであり(以下「本自己株式処分」といいます。)、金融商品取引法第二条に規定する定義に関する内閣府令第9条第1号に定める売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘となります。
- 3 振替機関の名称及び住所は次のとおりであります。
 名称：株式会社証券保管振替機構
 住所：東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号

2 【株式募集の方法及び条件】

(1) 【募集の方法】

区分	発行数	発行価額の総額(円)	資本組入額の総額(円)
株主割当			
その他の者に対する割当	81,800株	104,949,400	
一般募集			
計(総発行株式)	81,800株	104,949,400	

- (注) 1 第三者割当の方法によります。
- 2 発行価額の総額は、本自己株式処分に係る会社法上の払込金額の総額であります。なお、本有価証券届出書の対象とした募集は、自己株式処分により行われるものであるため、払込金額は資本組入れされません。

(2) 【募集の条件】

発行価格(円)	資本組入額(円)	申込株数単位	申込期間	申込証拠金(円)	払込期日
1,283		100株	平成29年10月31日(火)		平成29年10月31日(火)

- (注) 1 第三者割当の方法により行うものとし、一般募集は行いません。
- 2 発行価格は、本自己株式処分に係る会社法上の払込金額であります。なお、本有価証券届出書の対象とした募集は、自己株式処分により行われるものであるため、払込金額は資本組入れされません。
- 3 上記株式を割り当てた者から申込みがない場合には、当該株式に係る割当を受ける権利は消滅いたします。
- 4 申込みの方法は、申込期間内に後記申込取扱場所へ申込みをし、払込期日に後記払込取扱場所へ発行総額を払込むものとします。

(3) 【申込取扱場所】

店名	所在地
アイダエンジニアリング株式会社 管理部	神奈川県相模原市緑区大山町2番10号

(4) 【払込取扱場所】

店名	所在地
株式会社みずほ銀行 新宿法人支店	東京都新宿区西新宿1丁目17番1号

3 【株式の引受け】

該当事項はありません。

4 【新規発行による手取金の使途】

(1) 【新規発行による手取金の額】

払込金額の総額(円)	発行諸費用の概算額(円)	差引手取概算額(円)
104,949,400		104,949,400

(注) 新規発行による手取金の使途とは本自己株式処分による手取金の使途であります。

(2) 【手取金の使途】

本自己株式処分により調達する資金については、その全額を払込期日以降の諸費用支払い等の運転資金として充当する予定です。

なお、支出実行までの資金管理については、当社預金口座にて管理を行います。

第2 【売出要項】

該当事項はありません。

第3 【第三者割当の場合の特記事項】

1 【割当予定先の状況】

a 割当予定先の概要

名称	資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)
本店の所在地	東京都中央区晴海1丁目8番12号 晴海トリトンスクエア タワーZ
代表者の役職及び氏名	代表取締役社長 森脇 朗
資本金	50,000百万円
事業の内容	マスタートラスト業務、有価証券資産の管理業務、確定拠出年金の資産管理業務
主たる出資者及びその出資比率	株式会社みずほフィナンシャルグループ 54% 第一生命保険株式会社 16% 朝日生命保険相互会社 10%

b 提出者と割当予定先との間の関係

出資関係	該当事項はありません。
人事関係	該当事項はありません。
資金関係	該当事項はありません。
技術又は取引関係	みずほ信託銀行株式会社の再信託先としての株式給付信託(従業員向け給付型)取引。

(注) 割当予定先の概要及び提出者と割当予定先との間の関係の欄は、平成29年10月12日現在のものです。

株式給付信託(BBT)(本制度)の内容

割当予定先である資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、当社とみずほ信託銀行株式会社との間で当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社を受託者(再信託受託者を資産管理サービス信託銀行株式会社)とする信託契約(以下「本信託契約」といいます。)を締結することによって設定される信託口であります。また、本信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。

本制度は、企業内容等の開示に関する内閣府令第2号様式等により開示が義務付けられている「従業員株式所有制度」には該当しませんが、一定の要件を満たした取締役(社外取締役を除きます。以下同じです。)に対し当社株式及び当社株式を当該取締役の退任日又は役員株式給付規程において定める日時点の時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)を給付する仕組みであり、「従業員株式所有制度」に準じて以下本制度の内容を記載します。

(1) 概要

本制度は、予め当社が定めた役員株式給付規程に基づき、取締役に対し、当社株式等を本信託を通じて給付する制度です。

当社は、取締役に対し、役員株式給付規程に基づき、役位等を勘案して定められたポイントを付与します。本信託は、取締役を退任した者のうち、役員株式給付規程に定める受益者要件を満たす者(以下「受益者」といいます。)に対して、当該受益者に付与されたポイント数に相当する当社株式等を給付します。取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。本制度の導入により、取締役の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にすることで、取締役の中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることが期待されます。

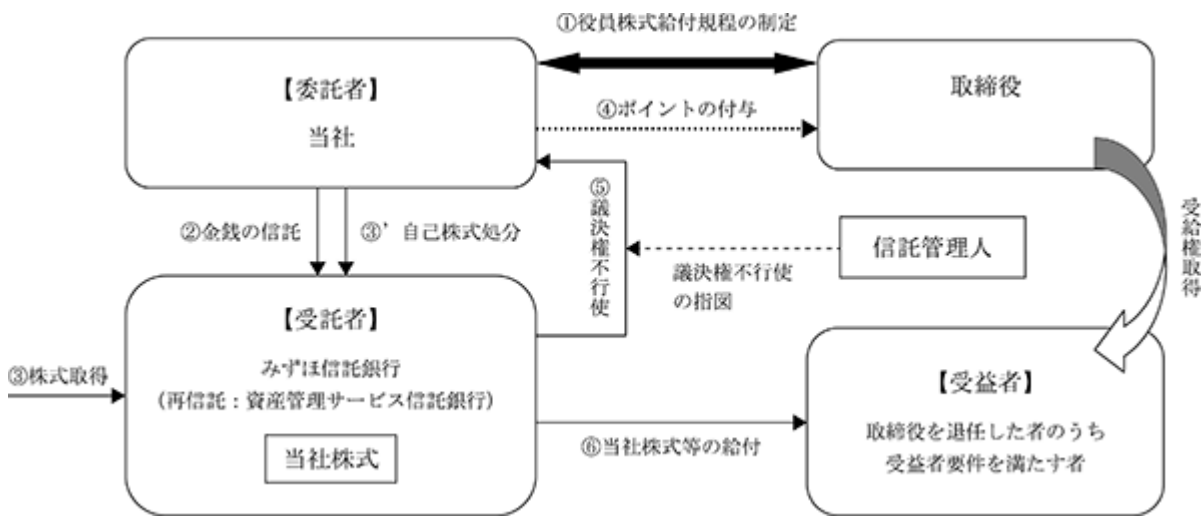
当社は、役員株式給付規程に基づき取締役将来給付する株式をあらかじめ取得するために、みずほ信託銀行株式会社(再信託先：資産管理サービス信託銀行株式会社)(以下「信託銀行」といいます。)に金銭を信託(他益信託)します。信託銀行は、当該金銭により、役員株式給付規程に基づき将来付与されると合理的に見込まれるポイント数に相当する数の当社株式を、取引市場を通じて又は当社から自己株式処分(第三者割当)を引き受ける方法によって将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。なお、第三者割当については、信託銀行と当社の間で有価証券届出書の効力発生後に締結される募集株式の総数引受契約書に基づいて行われます。

割当予定先である資産管理サービス信託銀行株式会社は、割り当てられた当社株式を含む本信託の信託勘定内の当社株式に係る議決権行使について、信託管理人の指図に従います。本制度においては、信託管理人が信託銀行に対して議決権不行使の指図を行い、信託銀行はかかる指図に従って、議決権を一律行使しないものとします。なお、信託管理人には、当社と利害関係のない第三者が就任します。

(2) 受益者の範囲

取締役を退任した者のうち、役員株式給付規程に定める受益者要件を満たす者

< 株式給付信託(BBT)の概要 >



当社は、平成29年6月19日開催の株主総会(以下「本株主総会」といいます。)で承認を受けた枠組みの範囲内において、役員株式給付規程を制定します。

当社は、本株主総会で承認を受けた範囲内で金銭を信託します。

本信託は、で信託された金銭を原資として当社株式を、取引市場を通じて又は当社の自己株式処分を引き受ける方法()により取得します。

当社は、役員株式給付規程に基づき取締役にポイントを付与します。

本信託は、当社から独立した信託管理人の指図に従い、本信託の信託勘定内の当社株式に係る議決権を行使しないこととします。

本信託は、受益者に対して、当該受益者に付与されたポイント数に応じた当社株式を給付します。ただし、当該受益者が支給を受けることができる当社株式の一定割合について、役員株式給付規程に定める条件に従って、当該取締役の退任日又は役員株式給付規程において定める日時点の時価で換算した金額相当の金銭を給付します。

c 割当予定先の選定理由

今般、当社は、みずほ信託銀行株式会社から提案のあった本制度を導入することといたしました。本制度は、上記「b 提出者と割当予定先との関係 株式給付信託(BBT)(本制度)の内容 (1)概要」に記載しましたとおり、取締役に對して当社株式等を給付し、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

当社では、機動的な資本政策や資本効率の向上を目的とし、自己株式の取得を進めてまいりましたが、その自己株式の有効活用として、本制度における信託銀行の株式取得のため、自己株式の割当を行うことといたしました。

なお、本制度においては、上記「b 提出者と割当予定先との関係 株式給付信託(BBT)(本制度)の内容(1)概要」に記載しましたとおり、当社を委託者、みずほ信託銀行株式会社を受託者(再信託受託者を資産管理サービス信託銀行株式会社)として本信託契約を締結する予定であることから、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)を割当予定先として選定したものです。

d 割り当てようとする株式の数

81,800株

e 株券等の保有方針

割当予定先である資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、本信託契約に基づき、信託期間内において役員株式給付規程に基づき当社株式等の信託財産を受益者に給付するために保有するものであります。

f 払込みに要する資金等の状況

割当予定先の払込みに要する資金に相当する金銭につきましては、当社は、役員株式給付規程に基づき取締役将来に将来給付する株式をあらかじめ取得するために、みずほ信託銀行株式会社(再信託先：資産管理サービス信託銀行株式会社)に金銭を信託(他益信託)します。

当社からの当初信託金をもって、払込みに要する資金に相当する金銭が割当日において信託財産内に存在する予定である旨、締結予定の株式給付信託契約書案により確認を行っております。

g 割当予定先の実態

割当予定先である資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、割り当てられた当社株式に係る議決権行使について、信託管理人の指図に従います。本制度においては、信託管理人が信託銀行に対して議決権不行使の指図を行い、本信託の受託者はかかる指図に従って、議決権を一律行使しないものとします。なお、信託管理人は、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)に対して議決権不行使に関する指図を行う際には、本信託契約に定める「信託管理人ガイドライン」に従います。

信託管理人には当社と利害関係のない第三者が就任します。

信託銀行は「信託財産管理処分方針書」に基づいて、当社から独立して信託財産の管理及び処分を行います。

なお、割当予定先が暴力若しくは威力を用い、又は詐欺その他の犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体(以下「特定団体等」といいます。)であるか否か、及び割当予定先が特定団体等と何らかの関係を有しているか否かについては、資産管理サービス信託銀行株式会社のホームページ及びディスクロージャー誌の公開情報に基づく調査によって割当予定先が特定団体等でないこと及び割当予定先が特定団体等と何らかの関係を有していないことを確認しております。なお、当社は、その旨の確認書を、株式会社東京証券取引所に提出しております。

2 【株券等の譲渡制限】

該当事項はありません。

3 【発行条件に関する事項】

a 払込金額の算定根拠及び合理性に関する考え方

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日(平成29年10月11日)の株式会社東京証券取引所における当社普通株式の終値である1,283円といたしました。取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、これが株式市場における当社の適正な企業価値を表すものであり、合理的な価額であると判断したためです。

なお、処分価額1,283円については、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近1か月間の終値平均1,294円(円未満切捨)に対して99.15%を乗じた額であり、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近3か月間の終値平均1,195円(円未満切捨)に対して107.36%を乗じた額であり、また、同直近6か月間の終値平均1,100円(円未満切捨)に対して116.64%を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえず、合理的なものとして判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役全員(3名、全員社外監査役)が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

b 処分数量及び株式の希薄化規模の合理性に関する考え方

処分数量については、役員株式給付規程に基づき信託期間のうち平成30年3月末日で終了する事業年度から平成32年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度に当社の取締役に給付すると見込まれる株式数に相当するものであり、平成29年9月30日現在の発行済株式総数73,647,321株に対し0.11%(小数点第3位を四捨五入、平成29年9月30日現在の総議決権個数650,024個に対する割合0.13%)となりますが、当社株式の給付は取締役の退任等に伴うもので緩やかに行われるため、本自己株式処分による株式が一時に株式市場に流出することは考えられません。

また、本自己株式処分は、取締役の報酬と当社株式価値の連動性を明確にし、取締役が株価上昇によるメリットのみならず、株価下落リスクまでも株主と共有することで、取締役の中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めるためのものです。

以上のことにより、株式の希薄化の規模は合理的であり、株式市場への影響は軽微であると判断しております。

4 【大規模な第三者割当に関する事項】

該当事項はありません。

5 【第三者割当後の大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	総議決権数に 対する所有議 決権数の割合 (%)	割当後の所 有株式数 (千株)	割当後の総議 決権数に對す る所有議決権 数の割合(%)
第一生命保険(株)	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	4,000	6.15	4,000	6.15
資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)	東京都中央区晴海1丁目8番12号	3,382	5.20	3,464	5.32
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	2,961	4.56	2,961	4.55
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	2,795	4.30	2,795	4.29
日本生命保険(相)	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	2,533	3.90	2,533	3.89
明治安田生命保険(相)	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	2,516	3.87	2,516	3.87
(株)みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	2,179	3.35	2,179	3.35
会田 仁一	東京都港区	1,444	2.22	1,444	2.22
BBH/ROBO-STOXTM GLOBAL ROBOTICS AND AUTOMATION INDEX ETF (常任代理人(株)三井住友銀行)	1 FREEDOM VALLEY DR OAKS PENNSYLVANIA 19456998901 (東京都千代田区丸の内1丁目3番2号)	1,314	2.02	1,314	2.02
アイダエンジニアリング取引先持株会	神奈川県相模原市緑区大山町2番10号	1,268	1.95	1,268	1.95
計	-	24,394	37.53	24,476	37.61

(注) 1.平成29年9月30日現在の株主名簿を基準として記載しております。

2.当社所有の自己株式8,568千株(平成29年9月30日現在)は、本自己株式処分後8,486千株となります。

6 【大規模な第三者割当の必要性】

該当事項はありません。

7 【株式併合等の予定の有無及び内容】

該当事項はありません。

8 【その他参考になる事項】

該当事項はありません。

第4 【その他の記載事項】

該当事項はありません。

第二部 【公開買付けに関する情報】

第1 【公開買付けの概要】

該当事項はありません。

第2 【統合財務情報】

該当事項はありません。

第3 【発行者(その関連者)と対象者との重要な契約】

該当事項はありません。

第三部 【参照情報】

第1 【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類をご参照ください。

1 【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第82期(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) 平成29年6月19日関東財務局長に提出

2 【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第83期第1四半期(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) 平成29年8月8日関東財務局長に提出

3 【臨時報告書】

1の有価証券報告書提出後、本有価証券届出書提出日(平成29年10月12日)までに、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づき、臨時報告書を平成29年6月22日に関東財務局長に提出

第2 【参照書類の補完情報】

参照書類である有価証券報告書(第82期事業年度)及び四半期報告書(第83期第1四半期)(以下「有価証券報告書等」といいます。)に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書等の提出日以降、本有価証券届出書提出日までの間に生じた変更その他の事由はありません。また、当該有価証券報告書等に記載されている将来に関する記載事項は、本有価証券届出書提出日(平成29年10月12日)現在においても変更の必要はないものと判断しております。

第3 【参照書類を縦覧に供している場所】

アイダエンジニアリング株式会社
(神奈川県相模原市緑区大山町2番10号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第四部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

第五部 【特別情報】

第1 【保証会社及び連動子会社の最近の財務諸表又は財務書類】

該当事項はありません。